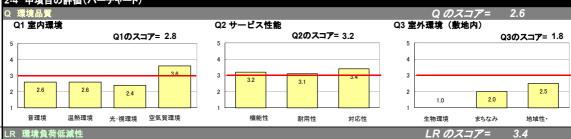
## **C**ASBEE -あいち

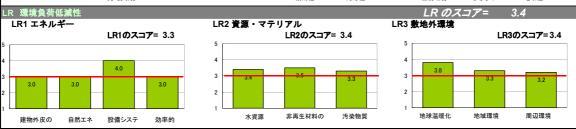
## ▮評価結果▮

ル: CASBEE-建築(新染)2014年版+あいち版手引き |使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)\_AIC











各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。 ①地球温暖化への配慮 LR-3 1 地球温暖化への配慮 ②資源の有効活用 Q-22 耐用性・信頼性、Q-23 対応性・更新性 LR-22 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化 Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用

Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4)地域性のある素材による良好な景観形成

中高木の樹冠の水平投影面積+低木・地被等の植栽面積 ×100 外構緑化指数= 敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた

屋上緑化面積+壁面緑化面積 建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積) 建物緑化指数=



CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引 小枚南工場 技術センター新築工事

大田東頂目   実施設計段階   接触を体   接触を体   接触を体   接触を体   接触を   接換を   1 音報機   2.6   3.0   3.	重み 係数 0.39 0.15 0.40 0.60 0.40 - 0.20 0.35 0.35 0.38 0.25 0.38 0.25 0.38 0.20 0.30 0.40 0.40 0.40 0.50 0.50 0.50 0.50 0.5	住居・宿: 評価点	白部分 重み 係数 - - - - - - - - - - - - - - - - - -	全体 2.6 2.8 2.6
記載項目   環境配慮設計の概要配入機	重み 係数 0.39 0.15 0.40 0.60 0.40 - 0.20 0.35 0.35 0.38 0.25 0.38 0.25 0.38 0.20 0.30 0.40 0.40 0.40 0.50 0.50 0.50 0.50 0.5		重係 	2.6 2.8 2.6
	係数 0.39 0.15 0.40 0.40 0.60 0.40 - 0.20 0.35 0.35 0.25 0.38 0.25 0.30 0.20 0.30 0.4	評価点	条数 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	2.6 2.8 2.6
1	0.39 0.15 0.40 0.40 0.40 0.20 0.35 0.50 0.38 0.25 0.38 0.25 0.30 0.25 0.30 0.40 0.40			2.8
1	0.15 0.40 0.40 0.60 0.20 0.35 0.50 0.38 0.25 0.30 0.25 0.30 0.40 0.40 0.30 0.25 0.30 0.25			2.8
1 音楽館   2.6   3.0   1.2 遊音   1.1 脳音   3.0   3.0   2.1 空   2 界壁遮音性能   3.0	0.15 0.40 0.40 0.60 0.20 0.35 0.50 0.38 0.25 0.30 0.25 0.30 0.40 0.40 0.30 0.25 0.30 0.25			2.6
1.1 騒音	0.40 0.40 0.60 0.40 - 0.20 0.35 0.50 0.38 0.25 0.38 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.40			
1.2 連音	0.40 0.60 0.40 - 0.20 0.35 0.50 0.38 0.25 0.30 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		- - - - -	2.6
1 閉口部適音性能	0.60 0.40 - - 0.20 0.35 0.50 0.38 0.25 0.30 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		- - - - -	2.6
2	0.40 - 0.20 0.35 0.50 0.38 0.25 0.30 0.25 0.30 0.25 0.30 0.40 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		- - - - -	2.6
3	0.20 0.35 0.50 0.38 0.25 0.38 0.20 0.30 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		- - - - -	2.6
1.3 収音   1.3 収音   2.3 整理	0.35 0.50 0.38 0.25 0.38 0.20 0.30 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		- - - - -	2.6
1.3 吸音	0.35 0.50 0.38 0.25 0.38 0.20 0.30 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		- - - - -	2.6
2 運動環境       2.6         2.1 室温制御       3.0         1 室温       3.0         2.2 別戌性能       3.0         3.0       3.0         2.2 湿度制御       1.0         2.3 空調方式       3.0         3.1 屋光利用       1.8         1 屋光和財政備       1.8         3.2 グレア対策       2.0         1 屋光利用設備       3.0         3.4 照明制御       4.0         4.1 発生源対策       4.0         4.1 発生源対策       4.0         4.1 発生源対策       4.0         4.2 換気       4.0         3 取り入れ外気への配慮       3.3         4.2 連携管理       5.0         1   協気量       5.0         2   空煙の制御       3.0         3.2   空煙の制御       -0         1 機能性・使いやすさ       3.2         1 協能性・使いやすさ       3.2         1 協能性・使いやすさ       3.2         1 協能性・使いやすさ       3.0         1 協能性・使いやすさ       3.0         1 協能性・使いやすさ       3.0         1 協能性・使いやすさ       3.0         2 高度情報通信設備対応       3.0         3 パリアフリー計画       40         1.0       3.0         2 小理学院の報告       3.0         3 (2)	0.35 0.50 0.38 0.25 0.38 0.20 0.30 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25	99	- - - - -	2.6
2.1 室温制御       3.0         2 外皮性能       3.0         3 ゾーン別制御性       3.0         2.2 湿度制御       1.0         2.3 空間方式       3.0         3 光・視環境       2.4         3.1 昼光利用       1.8         1 昼光利用設備       1.0         3.2 グレア対策       2.0         1 昼光制御       3.0         3.4 照明制御       4.0         4 空気質療境       3.6         4.1 発生源対策       4.0         1 化学汚染物質       4.0         4.2 換気       5.0         2 自然換気性能       5.0         3 取り入れ外気への配慮       5.0         4.3 運用管理       5.0         1 (○3の監視       5.0         2 喫煙の制御       3.0         Q2 サービス性能       3.0         1.1 機能性・使いやすさ       3.0         1 広さ・収納性       3.0         2 高度情報通信設備対応       3.0         3 バリアフリー計画       数自         1.2 心理性・快適性       0Aコンセント容量50VA/㎡以上、光ケーブルの設置         1.2 心理性・快適性       3.6	0.50 0.38 0.25 0.38 0.20 0.30 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25	39	- - - - -	2.0
1 室温 2 外及性能 3 ゾーン別制御性 2.2 湿度制御 2.3 空調方式 3.0 3 光視環境 2.4 3.1 昼光利用 1 屋光率 2 方位別開口 3 屋光利用設備 3.0 3.2 グレア対策 1 屋光制御 3.0 3.3 照度 3.4 照明制御 4 空気環境 4.1 発生源対策 4.0 4.1 発生源対策 4.0 4.2 換気 4.1 発生源対策 4.0 4.2 換気 4.1 発生源対策 4.0 5.0 1 「位学汚染物質 4.0 4.2 換気 4.1 発生源対策 4.0 1 「位学汚染物質 4.0 4.2 換気 4.2 換気 4.2 換気 4.2 換気 4.3 運用管理 1 回然験気性能 3 取り入れ外気への配慮 4.3 運用管理 1 に0:6の監視 2 喫煙の制御 5.0 6 室建築物衛生法を満たす換気量の1.4倍以上 5 5 0 1.0 7 決楽無し、空気取り入れ口は各種排気口と6m以上離れている 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.38 0.25 0.38 0.20 0.30 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		- - - - - - - -	
2 外皮性能       3.0         2.2 速度制御       1.0         2.3 空調方式       2.4         3.1 屋光利用       1.8         1 屋光率       2.0         2 方位別開口       3.0         3.3 服光利用設備       2.0         3.3 照財制御       4.0         4 空気養環境       4.0         4.1 発生源対策       4.0         1 化学汚染物質       4.0         2 自然接気性能       3.3         3 取り入れ外気への配慮       5.0         4.3 運用管理       5.0         1 CO-の監視       5余業業業物衛生法を満たす換気量の1.4倍以上         2 奥煙の制御       3.0         Q2 サービス性能       -         1 機能性・使いやすさ       3.0         1 広さ・収納性       3.0         2 高度情報通過信設備対応       3.0         3 バリアフリー計画       数自         1.2 心理性・快適性       0Aコンセント容量50VA/㎡以上、光ケーブルの設置         1.2 心理性・快適性       3.6	0.25 0.38 0.20 0.30 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		- - - - - -	
2.2 湿度制御	0.38 0.20 0.30 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		- - - -	
2.2 湿度制御	0.20 0.30 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		- - - -	
2.3 空間方式   3.0   3.4・視環境   2.4   3.1   医光利用   1.8   1.0   2.5   5.0   1.0   2.0   3.3   1.0   3.2   7レア対策   2.0   3.3   1.0   2.0   3.3   1.0   2.0   3.4   照明制御   2.0   3.4   照明制御   3.6   4.0   4.0   3.4   1.0   4.0   3.6   4.0   4.0   3.0   4.0   4.0   3.0   4.0   4.0   3.0   4.0   4.0   4.0   3.0   4.0   4.0   4.0   4.0   3.0   4.0	0.30 0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		-	
3 光・視環境	0.25 0.30 0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		-	
3.1 屋光利用	0.60 - 0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		1	2.4
1 屋光率   2 方位別開口   3.0 光利用設備   2.0	0.40 0.30 1.00 0.15 0.25		<b>1</b> - 1	
2 方位別開口 3 屋光利用設備 3.2 グレア対策 2.0 1 屋光制御 3.3 照度 5 高端 解野制御 4 空気養療境 4.1 発生源対策 4.0 4.0 4.2 換気 2 自然検気性能 3 取り入れ外気への配慮 4.3 運用管理 1 CO₂の監視 2 受煙の制御 5 会室建築物衛生法を満たす換気量の1.4倍以上 5 の	0.40 0.30 1.00 0.15 0.25			
3.2 グレア対策   2.0   2.0   3.3 照度   4.0   3.6   4.0   3.0   4.0   4.0   3.0   4.0	0.40 0.30 1.00 0.15 0.25	<b>********</b>	- 1	
3.2 グレア対策	1.00 0.15 0.25		4 -	
1 屋光制御 3.3 照度 3.4 照明制御 4 空気質環境 4.1 発生源対策 1 化学汚染物質 2.0 4.0 3.6 4.1 発生源対策 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0	0.15 0.25	10000000	K -	
3.3 照度   名階事務室5001x以上   4.0   3.0   4	0.25	30000000	. i	
3.4 照明制御	0.25	<b> </b>	- 1	
4.1 発生振対策		XXXXXXX	-	
4.1 発生源対策     1 化学汚染物質       4.2 換気     4.0       4.2 換気     4.0       4.2 換気     5.0       2 自然換気性能     1.0       3 取り入れ外気への配慮     5.0       4.3 運用管理     3.0       2 喫煙の制御     3.0       Q2 サービス性能     3.2       1 機能性・使いやすさ     3.2       1 広さ・収納性     3.0       2 高度情報通信設備対応     3.0       3 バリアフリー計画     数自       1.2 心理性・快適性     3.6	0.25	XXXXXX	<del>2</del> -	3.6
1 化学汚染物質   規制のある建材はすべてF☆☆☆☆とする   4.0   2   換気   1   換気量   5.0   1.0	0.50	XXXXXXX	<u> </u>	
***********************************	1.00	XXXXXXX	٦ -	
4.2 換気     3.3       2 自然機気性能     5.0       3 取り入れ外気への配慮     4.3 運用管理       1 ○○・の監視     3.0       2 喫煙の制御     3.0       1 機能性・使いやすさ     3.2       1 広さ・収納性     3.0       2 高度情報通信設備対応     3.0       3 バリアフリー計画     数自       1.2 心理性・快適性     3.6	-	NXXXXXX		
1 換気量     2 自然換気性能     5.0       2 自然換気性能     5.0       3 取り入れ外気への配慮     5.2       4.3 運用管理     3.0       2 喫煙の制御     3.0       Q2 サービス性能     -       1 機能性・使いやすさ     3.2       1.1 機能性・使いやすさ     3.0       2 高度情報通信設備対応     3.0       3 パリアフリー計画     数自       1.2 心理性・快適性     3.6	0.30		d .	
2 自然換気性能     1.0       3 取り入れ外気への配慮     5余楽無し、空気取り入れ口は各種排気口と6m以上離れている       4.3 運用管理     3.0       1 CO:の監視     3.0       2 喫煙の制御	0.33	8888888	9 -	
3   取り入れ外気への配慮	0.33	<b>RXXXXXXX</b>	<b>1</b> - 1	
4.3 運用管理   3.0	0.33	8888888		
1 CO2の監視     3.0       2 使煙の制御     3.0       Q2 サービス性能     -       1 機能性     3.2       1.1 機能性・使いやすさ     3.0       2 高度情報通信設備対応     3.0       3 パリアフリー計画     独自       1.2 心理性・快適性     3.6	0.20		<u> </u>	
2   喫煙の制御     3.0       Q2 サービス性能     -       1 機能性・使いやすさ     3.0       1 広さ・収納性     3.0       2 高度情報通信設備対応     3.0       3 パリアリー計画     独自       1.2 心理性・快適性     3.6	0.50	XXXXXXX	8 -	
1 機能性   3.2   3.0	0.50	XXXXXX	Ř -	
1 機能性   3.2   3.0	0.30	-	-	3.2
1.1 機能性・使いやすさ     3.0       1 広さ・収納性     3.0       2 高度情報通信設備対応     3.0       3 パリアフリー計画     独自       1.2 心理性・快適性     3.6	0.40	188888888	<del>.</del> -	3.2
1 広さ・収納性     3.0       2 高度情報通信設備対応     5.0       3 パリアリー計画     独自       1.2 心理性・快適性     3.6	0.40	XXXXXX	<del>.</del> .	
3   パリアフリー計画   独自   1.0     1.2   心理性・快適性   3.6	0.33	XXX88XX	9 -	
3 パリアフリー計画 独自   1.0   1.2 心理性・快適性   3.6	0.33	<b>XXXXXXX</b>	- 1	
1.2 <u>心理性·快適性</u> 3.6	0.33	8888888		
1   広さ成・暑報   各階事務室天井高270m以上   4.0	0.30	XXXXXX	<u> </u>	
	0.33	XXXXXXXX	- 1	
2 リフレッシュスペース リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上 4.0	0.33	<b>********</b>		
3 内装計画 3.0	0.33	8888888		
1.3 維持管理 3.0	0.30	50000000	<b>7</b> -	
1 維持管理に配慮した設計 3.0	0.50	XXXXXX	A -	
2   維持管理用機能の確保   3.0	0.50	<b>********</b>	-	
	-	8888888	-	
2 耐用性・信頼性 3.1	0.31	XXXXXXX	<u> </u>	3.1
2.1 耐震·免震 3.0	0.48	*********	8 -	
1 耐震性 3.0	0.80	XXXXXXX	Ā -	
2 免震·制振性能 3.0	0.20	8888888	X -	
<b>2.2</b> 部品·部材の耐用年数 3.3	0.33	XXXXXXX	<u> </u>	
1 躯体材料の耐用年数 3.0	0.23	XXXXXXX	8 -	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2 3.0	0.23	XXXXXXX	2 -	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3.0	0.09	8888888	X -	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔 3.0	0.08	XXXXXXX	d -	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔 上位3種がB以上、Eは不使用 5.0	0.15	XXXXXXX	3 -	
6 主要設備機器の更新必要間隔 3.0	0.23	XXXXXXX	- H	
2.4 信頼性 3.2	0.19	COCCCCC	× -	
1 空調·換気設備 3.0	0.20		d -	
2 給排水·衛生設備 3.0	0.20		8 -	
3 電気設備 2 3.0	0.20	XXXXXXX	× -	
4 機械・配管支持方法     耐震クラスA	0.20	<b> </b>	X -	
5 通信·情報設備 3.0		XXXXXXXX	× -	<u> </u>
3 対応性・更新性 3.4	0.20	XXXXXX	<u> </u>	3.4
3.1 空間のゆとり 4.6 4.6	0.20	XXXXXXX	× -	
1 階高のゆとり 1~6階階高3.9m以上 5.0	0.20 0.29 0.31	<b>XXXXXXXX</b>	1 -	
2 空間の形状・自由さ 壁長さ比率0.12 4.0	0.20 0.29 0.31 0.60	K888888	· k	
3.2 荷重のゆとり 3.0	0.20 0.29 0.31 0.60 0.40		-	
3.3 設備の更新性 3.0	0.20 0.29 0.31 0.60 0.40 0.31	DOXXXXX	K -	
1 空調配管の更新性	0.20 0.29 0.31 0.60 0.40 0.31 0.38	<b>********</b>	H -	
2 給排水管の更新性 3.0	0.20 0.29 0.31 0.60 0.40 0.31 0.38 0.17		Ni .	
3 電気配線の更新性 3.0	0.20 0.29 0.31 0.60 0.40 0.31 0.38 0.17 0.17		- 3	
4     通信配線の更新性       5     設備機器の更新性       3.0       3.0	0.20 0.29 0.31 0.60 0.40 0.31 0.38 0.17 0.17 0.11		- -	
	0.20 0.29 0.31 0.60 0.40 0.31 0.38 0.17 0.17 0.11 0.11		× - × - × -	
6   パックアップスペースの確保   3.0	0.20 0.29 0.31 0.60 0.40 0.31 0.38 0.17 0.17 0.11		-	

ス=	アシート 実施設計段階								
		独自基準			用部分				
配品	<b>I項目</b>	重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体	
Q3	室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	1.8	
	生物環境の保全と創出	独自③		1.0	0.30	<b>***********</b>	-	1.0	
	まちなみ・景観への配慮	独自④		2.0	0.40	************	-	2.0	
3	地域性・アメニティへの配慮	** ** *		2.5	0.30	<b>***********</b>	-	2.5	
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④		2.0 3.0	0.50 0.50	XXXXXX	-		
LB	3.2 敷地内温熱環境の向上				0.50	>>>>	-	2.4	
	建築物の環境負荷低減性			-	-	-		3.4	
	エネルギー		BPIm=0.96	-	0.40	XXXXXXXX	-	3.3	
	建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用		BPIM-0.90	3.0 3.0	0.26	**********	-	3.0	
	設備システムの高効率化			4.0	0.21	***************************************		4.0	
l ۲	集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明等の高効率設備機器の採用	4.0	1.00	8888888		4.0	
	集合住宅の評価(3c)	1		2222222	-	8888888	-		
4	効率的運用			3.0	0.21	*******	-	3.0	
'	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	XXXXXX	-		
	4.1 モニタリング	]		3.0	0.50	XXXXXXXX	-		
	4.2 運用管理体制			3.0	0.50	XXXXXXXX	-		
	集合住宅の評価			<b>*********</b>	-	XXXXXXX	-		
	4.1 モニタリング			**********	-	*********	-		
	4.2 運用管理体制			2000	-	22222222	-		
	資源・マテリアル			-	0.30	-	•	3.4	
1	水資源保護		Mr. I. Til. I. I. A. C I C. Mr. I. Til E 10 o. 15 F.	3.4	0.15	<b>********</b>	-	3.4	
	1.1 節水		節水型水栓に加え、節水型便器の採用	4.0	0.40	B8888888888888888888888888888888888888	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	XXXXXX	-		
	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0 3.0	0.67 0.33	*********	-		
<u> </u>				3.0 3.5	0.33	***************************************	-	3.5	
4	非再生性資源の使用量削減 2.1 材料使用量の削減			2.0	0.03	8888888		3.5	
	2.1 物科医用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.07	×××××	_		
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	②	_	3.0	0.20	××××××	_		
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床タイル(床材)、OAフロア(内装材)	4.0	0.20	B88888888	-		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	XXXXXXX	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	LGS下地の採用、OAフロア、可動間仕切の採用	5.0	0.24	XXXXXXX	-		
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22	********	-	3.3	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		防水工事のプライマー採用	4.0	0.32	XXXXXX	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避	l		3.0	0.68	8888888	-		
	1 消火剤			-	-	XXXXX	-		
	2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	××××××××××××××××××××××××××××××××××××××	-		
LBC	3 冷媒			3.0	0.50	XXXXXXXXX		2.4	
	敷地外環境	①	   ライフサイクルCO2概算値:78%	3.8	0.30	00000000	-	3.4	
	地球温暖化への配慮地域環境への配慮		ノコンソコン/VOUZ似界世./070	3.8	0.33	**********	-	3.8	
2	地域環境への配慮 2.1 大気汚染防止		ガス設備設置無し	5.0	0.33	*********	-	3.3	
	<b>2.1</b> 人気/5米的エ <b>2.2</b> 温熱環境悪化の改善	1	W CALL BOTH DATE WAS CONTRACTED BY THE BY THE BY THE BY THE BY THE	3.0	0.23	XXXXXXX	_		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制	1		2.3	0.25	<b>********</b>	-		
	1 雨水排水負荷低減	独自	1	-	-		-		
	2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	XXXXXXXX	-		
	3 交通負荷抑制	独自		1.0	0.33	XXXXXXXX	-		
	4 廃棄物処理負荷抑制		<u> </u>	3.0	0.33	⋘⋘	-		
3	周辺環境への配慮			3.2	0.33	**********	-	3.2	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	XXXXXXX	-		
	1 騒音	独自	1	3.0	1.00	8888888	-		
	2 振動	独自		-	-	XXXXXXX	-		
	3 悪臭	l l		<u> </u>	- 0.46	XXXXXXXX	-		
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	XXXXXXXX	-		
	1 風害の抑制	l l		3.0	0.70	*********	-		
	2   砂塵の抑制   3   日照阻害の抑制   3   日照阻害の抑制   3   1   1   1   1   1   1   1   1   1			<b>********</b>	0.30	XXXXXXX			
	3.3 光害の抑制 3.3 光害の抑制	ł		4.4	0.30	XXXXXXX			
	3.3 元音の抑制 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策がイドラインチェックリストの過半を満たす、広告物照明無し	5.0	0.20	XXXXXXX	_		
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		Service Control of the Control of th	3.0	0.70	***************************************	_		
	2 三元の左前が三元のの人がかいプラブン・の対象		<u> </u>	5.0	0.50	<u> </u>			

■使用評価マニュアル<mark>CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引</mark>き

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)\_AICHI

重点項	目(配慮項目	)	評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策					3.8
	LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
2	資源の有効	活用		3. 3	
	Q2-2	耐震性·信頼性	3.1	0.09	
	Q2-3	対応性·更新性	3.4	0.09	
	LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.5	0.19	
3	敷地内の緑	化			1.0
	Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
4	地域材の活	用	(評価ポイント)		1.0
	Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	_	なし
	Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

## ■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化 重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

計画上の配慮事項					
総合	・建物の高さ/低コストへの取り組み ・快適で機能的な執務スペース ・省エネの取組み ・光害の抑制等、敷地外環境への配慮				
Q1 室内環境	・各階事務室は十分な照度を確保している・建材はF☆☆☆☆を採用し、空気質環境に配慮・換気量の確保、取り入れ外気への配慮を行っている				
Q2 サ <b>ー</b> ビス性能	・光ケーブルの設置等、機能性に配慮・天井高及び、リフレッシュスペースを確保し、快適性に配慮・空調、給排水管は耐用年数の長い部材を採用している・設備機器の耐震性能に配慮している・階高、壁長さ比率を確保し、空間のゆとりに配慮している				
Q3 室外環境(敷地内)	・周囲になじむ景観としている				
LR1 エネルギー	・LED照明の採用等、設備システムの高効率化に努めている				
LR2 資源・マテリアル	・リサイクル材の活用に努めている・再利用できる部材の採用等、解体時におけるリサイクル性に配慮している・防水工事のプライマー等、化学物質の使用削減に努めている				
LR3 敷地外環境	・ガス設備の設置無し等、大気汚染防止に努めている・光害対策がイドラインチェックリストの過半を満たす、広告物照明無し等、光害の抑制に努めている				
その他					